

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年5月11日(木) 10:00~12:00
- 3 開催場所 郡上特別支援学校 大和校舎体育館
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	板倉 寿明	愛知淑徳大学講師
副 会 長	水野 正文	郡上大和総合開発株式会社代表取締役社長
委 員	小澤 久美子	卒業生保護者代表 (欠席)
	石田 紀美江	元郡上市役所職員
	玉山 隆三	ダイアトップ株式会社代表取締役社長
	池戸 節子	郡上市社会福祉協議会相談支援専門員
	野田 美鈴	社会福祉法人ぶなの木福祉会理事長
	増田 雅幸	郡上市大和町栗巣地域住民
	山田 泰子	郡上市八幡町那比地域住民
	長屋 成博	P T A会長 (欠席)
オブザーバー	森藤 文男	郡上市議会議員
学 校 側	服部 秀明	校長
	吉田 孝弘	副校長
	牧野 康弘	事務部長
	瀧下 直子	教頭 (欠席)
	長井 奈月	小学部兼中学部主事
	金田 麻巳子	高等部主事
	深澤 文貴	教務部長(教務主任)
	鷺見 智世	健康教育部長(保健主事)
	平野 倫史	生徒指導部長(生徒指導主事)
	島田 晃宏	進路指導部長(進路指導主事)
	石原 貴子	地域連携部長(特別支援教育コーディネーター)
	大橋 央弥	研修主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度の学校運営方針について

意見1:校訓や学校教育目標が児童生徒の実態に合致しており、とても良い。広報活動も盛んに行うことで、より多くの方に本校のことを知っていただき、児童生徒の理解・啓発につなげてほしい。

意見2:集会等で児童生徒に指導している三つの事柄について、とても共感できた。加えて「おねがいします」が堂々と言えることも大切である。

意見3:県内のある学校では、教職員が熱心な故に熱意が空回りすることもあるという状況があると聞いた。特別支援学校も同様で、熱心な故に熱意が空回りをすることで教育に影響があるのではないかと。

⇒研修主事を中心に、研修・研究を計画的に推進している。教員の専門性の向上だけでなく、教員の熱意が空回りしないよう「対話による教師の学び」に取組み、児童生徒を中心にした教育を進めたい。

意見4：一校舎体制に向けての進捗状況がわからない。校舎移転後の栗巣地域や那比地域との連携について今後どう進めていくのか検討を進めていかねばならないのではないかと。

⇒現在のところ移転年度は未定であるため、栗巣地域、那比地域との連携を深めていく。移転の日程が明確になれば、移転準備を進めていきたい。

意見5：一校舎体制の学校整備については、学校や地域の声を確実に県政へ伝える必要がある。

意見6：校訓に「なかよく」とあり、共生社会の中で地域の方に理解してもらい、移転に向けて委員としても取組みたい。

意見7：高等部卒業生の保護者と話す機会があるが、特別支援学校に対して本当に感謝していると聞く。今後もこれまでと同様に学校運営を進めてほしい。

(2) 令和5年度の取組みについて

意見1：児童生徒の生き生きとした姿を参観することができた。また、毎日一生懸命教職員が取組んでいることが分かった。児童生徒が毎日学校へ登校できることが何よりも大切である。

意見2：児童生徒が専門家から学ぶことは、とても大切である。ぜひ、積極的に行ってほしい。

意見3：「自立」に向けて、生きていく力を付けることはとても重要である。食育も推進してほしい。

意見4：GujoSmile サポートーズはよい取組みである。現在は何名程度の登録があり、役割を果たされているのか、また今後も募集していくのか。

⇒現在、100名程度の登録がある。コロナ禍であり行事に参加していただけない状況だったが、GujoSmile レターを作成して学校の様子を伝えている。今後も募集活動を継続して行うとともに、積極的に地域との交流を計画し、サポートーズの皆様と連携を図りたい。

意見5：GujoSmile サポートーズの多さに驚いた。コロナが5類になり、これまで制限があった地域との交流を大切に教育活動を展開する計画であると感じた。

意見6：昨年度末、中学部の生徒と栗巣地域住民で交流会を実施した。地域の人が集まり、大変盛況であったため、今後も継続してほしい。

意見7：中学部の給食選手権の取組の成果として、今年度も当社で同様のメニューを提供していきたい。また、当社の料理人を派遣し、児童生徒が実践を通して学べるようサポートを積極的に行ってほしい。当社にとっても、社員が児童生徒と関わることが社員教育にもなっている。

意見8：今年度の取組みで計画されている行事などで十分である。児童生徒を中心に、一つずつ丁寧に取り組んでいただきたい。

(3) 作業製品の価格設定について

意見1：眼鏡ケースなどの製品もぜひ製作してもらいたい。

⇒現在、新製品の開発を進めているところである。参考にしたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の学校運営方針、取組み、作業製品の価格設定について承認が得られた。

各委員より、忌憚のない多くの意見が出された。令和5年度は、コロナ禍前に近い状況で地域と連携した学校運営計画に積極的に協力したいという意見であった。

本日の意見を踏まえ、地域と共に学校運営を進めていきたい。